

ZENRAKUREN

MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報

酪農とのかけはし 保木秀一さん

日本の酪農を応援!おかわり、モ〜一杯!

消費者へ安心・安全・国産牛乳をアピール「理解醸成活動」
東京・有楽町駅前広場にて大々的にPR!! - 全国各地で順次開催予定 -



酪農トピックス／「2016 北海道ホルスタインナショナルショウ」
盛大に開催! (札幌) ほか

日本酪農見て歩紀 (北海道雄武町 中川重美牧場)

酪政連活動報告

酪農部だより／全酪連ギフト商品について



11

2016 November No.614



全国酪農業協同組合連合会

その職業に携わるまでの道のりや、やりがい

実家は岐阜県高山市で養豚業を営んでおりましたが、近所には酪農家もあり、子供のころから酪農も身近に感じておりました。

私は長男でしたので、子供のころから漠然と、農業高校から大学へ進学し、卒業後は実家で後継者になるものと思っていました。農業高校へ進学するにあたり、子供のころから相撲が好きだったこともあり、地元の高校へは進学せず、県内でも相撲の強豪校である岐阜県立岐阜農林高等学校を選びました。入学後はすぐに相撲部に入部し、高校時代は国体にも出場しました。



▲ 保木秀一さん

ほ き しゅういち 保木 秀一 さん

47歳・岐阜県美濃加茂市在住
岐阜県高山市出身。日本大学農獣医学部獣医学科卒業後、ちばNOSAI連、NOSAIぎふに勤務し、今春より獣医として独立開業した。

仕事内容

現在、岐阜県関市・加茂郡の酪農家を、診療・繁殖検診・栄養アドバイスなどトータルでバックアップする活動を展開中。

第4回 獣医師

酪農との

がしなはし



「酪農家、牛とともに。
地域の獣医師として再出発！」

高校3年生のときに、獣医の大学への推薦の話があり、日本大学農獣医学部獣医学科への入学が決まりました。大学卒業のころには、獣医の世界で生きていくことを心に決め、そのことを両親に話し、実家の養豚業は父の代で終わることになりました。



保木秀一さんの
1日のタイムスケジュール



▲▲▼ 診療風景



最初に就職したちはNOSA I連では、共進会好きの上司に共進会にも連れて行ってもらい、乳牛がますます好きになりました。その後、地元のNOSA Iぎふに移り最終的には所長になりましたが、定年までのこり10数年となり、あとで振り返って良かったと思える人生を送りたいと思ったと

きに、退職・独立して酪農現場に戻ることを選択しました。若い頃から酪農家の方々にはかわいがってもらいました。私の仕事で酪農家の方々から「ありがとう」と言われたことが今でも私の原動力となっています。私の関わった酪農家が結果を出すのを見るととても嬉しいです。



▲▲ 酪農家さんの従業員のみなさんとの情報交換



自身の仕事と酪農との関わり

農家の近くにいたい、牛の近くにいたい、との思いで今春獣医として開業しました。現在は、診療・繁殖検診などで酪農家を走り回る忙しい毎日を送っています。

酪農の魅力とは

人の食べることのできない草を

食べて人の食品をつくる牛は不思議であり魅力的です。乳製品のもつ食品としての価値も素晴らしいと思います。特に日本の生乳の優れた品質は、世界でも胸を張れると思います。

酪農に望むこと

草づくりの地域に対する貢献度、牛づくりによる後継牛確保、この2つを意識してこれからも持続していつてもらいたいです。また、私のエリア

の酪農家でも若手従業員が育っており、新規就農への支援が今後必要になるでしょう。なにとともに1人ではできません、業界みんなで協力することが求められています。

全国の酪農家に
一言!



酪農にとってはこれからまた厳しい時代が来そうです。目先だけでなく10年後20年後につながる経営を期待しております。

日本の酪農を応援！おかわり、もう一杯！

消費者へ安心・安全・国産牛乳をアピール「理解醸成活動」
東京・有楽町駅前広場にて大々的にPR!! ―全国各地で順次開催予定―



▲ 半澤委員長による街頭演説で活動開始！

全酪連では、10月21日(金)、JR有楽町駅前広場(東京都千代田区)において、全国酪農青年女性会議(半澤善幸委員長 以下、「全国酪青女」)の協力のもと、消費者に対する理解醸成活動を行いました。

この活動は、国の補助事業である酪農経営支援総合対策事業(生乳生産者需要確保事業)の補助を受け、酪農業が置かれている状況、また酪農が果たす役割を説明し、消費拡大と酪農理解醸成を図る事を目的として、4年前から活動を行っております。

会場には酪農家の作業や牛乳の機能性をわかりやすく示したパネルや、等身大の乳牛の模型を展示。沿道には全国酪青女、全酪連職員総勢30名で、統一の牛柄の法被や着ぐるみを着用し、通行中の消費者の方々にエコバッグ・チラシ4,000枚を配布しながら、酪農への理解、牛乳乳製品の消費について熱心に説明しました。

活動中は、全国酪青女半澤委員長を始め、役員の方が「私たち酪農家は、皆さんに健康をお届けするため、毎日牛乳を搾っております。酪農が日本の栄養摂取や社会的に様々な役割を担っている事、国土保全の為に果たす役割について皆様に知っていただきたい!」と、マイクを使って訴え、主婦の方を始め、若い方も足を止めて説明を聞いておられました。当日は週末ということもあり、人通りも多く、例年よりも多くの消費者の皆さんに酪農のPRをすることができたと感じております。

この理解醸成活動は、今回の活動を皮切りに、全国各地のイベント等で順次PRしていく予定であり、会報にも継続して掲載していく予定です。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。(O.K)



▲ 熱心に消費者に説明



◀◀ 活動の様子



▲ パネル展示



◀ エコバッグは大人気



▲ 活動の様子



◀ 活動の様子



▲ 空手日本選手団



▲ 模擬搾乳体験

札幌
支所発

「2016 北海道ホルスタインナショナルショー」 盛大に開催！

9月24日(土)～25日(日)に北海道勇払郡安平町
早来のホルスタイン共進会場において、「2016
北海道ホルスタインナショナルショー」が盛大
に開催されました。

秋晴れとなった当日は、家族連れを含む多数
の来場があり、大盛況の2日間となりました。

ホルスタインナショナルショーでは、道内の
予選を勝ち抜けてきた444頭もの優秀な牛た
ちが出場し、どの牛がグランドチャンピオンを
獲得してもおかしくないほどレベルの高い品評
会となりました。また、初日に開催されたゴー
ルデンナショナルセールでは、21頭が出場し、
平均価格152万円で落札され、大盛況のうち
に終了しました。

今年も多くの出
展ブースが立ち並
び、一般消費者を
含む多くの来場者
が足を運びました。
全酪連札幌支所では、全酪連ブラン
ドチーズの販売を
メインとしたブー
スを出展しました。スモークチーズ（プレーン&
ペッパー）とゴーダチーズの試食販売や、5種類
のチーズをセット販売にしたタイムセールを展開
し、家族連れを含む多くのお客様に訪問して頂き



▲ 展示ブース(チーズ販売)



▲ 展示ブース(製品説明)



◀ グランドチャンピオン

▼ ブース全容



▲ 共進会場

ました。今回の目玉となるスモークチーズ、ゴー
ダチーズにおいては、合計200個の販売とした
ところ大盛況となり、見事に完売しました。

また、酪農家・和牛農家を対象に、現在使用
している代用乳・初乳粉末製品についてのアン
ケートを実施しました。2日間で計60枚の結
果が集まり、北海道内の酪農家・和牛農家にお
いて哺育製品に関する貴重な意見をいただく
ことができました。

ブース内の展示においては、10月から新た
に供給を開始した初乳粉末製品「グッドスター
トプレミアム」の告知を行いました。この度従
来の初乳製剤をリニューアルし、免疫グロブリ
ンの含有量を大幅に増量することで、より使い
やすい優れた製品となっています。こちらも多
くの来場者の目にとまり、早くも供給を待ち望
む声を多数頂きました。

天候が危ぶまれた今年のホルスタインナショ
ナルショーでしたが、両日ともに好天に恵ま
れ、賑やかなイベントとなりました。(O.K)

▼ アンケート



▲ ゴールデンナショナルセール

**2016北海道ホルスタインナショナルショーの主な結果は下記の通りです。
各賞受賞の皆様、おめでとうございます。**

各賞受賞	名 称	出 品 者
グランドチャンピオン	TMF モーサン ミツシー ゴールドコースト ET	ライブフィールド(帯広市)
リザーブチャンピオン	グランデル アストロ ルディー ロイ	岩田 政彦氏(北広島市)
ジュニアカップチャンピオン	DH スカッチ マーリン	山内 瑞穂氏(北見市)
ジュニアカップリザーブ・チャンピオン	レデイスマナー ブレーク ラヴ ヒロイン	藤原 桃香氏(帯広市)
ゴールデンナショナルセール 最高価格358万円	エツセンス ローソリティ エル アポロ	栗城 一貴氏(豊富町)

仙台
支所発

「牛乳・乳製品フェア2016 MIYAGI」開催！

去る10月15日(土)16日(日)の2日間にわたり、仙台市の勾当台公園において、宮城県牛乳普及協会（伊藤一成会長）による『牛乳・乳製品フェア2016 MIYAGI』が開催されました。

例年、宮城県や仙台市などが主催する『みやぎまるごとフェスティバル』と同時に開催されるこのイベントでは、骨密度測定やクイズ大会、牛乳パック工作教室やシャーベット作り、ミルクキッチンなどの体験型イベントや、県内乳業団体やメーカーによるショッピングテントが出店され、今年のテーマである『牛乳が楽しくする乳ライフ』を、数多くの市民が楽しみました。

本会仙台支所は、今年このイベントに初出店し、自工場製造のチーズの販売を行いました。中でも一番注目された商品は、北福岡工場で製造している国産生乳100%のゴーダチーズです。スーパーや量販店等で販売されるものの多くは海外産で、来場者の国内産ゴーダチーズへ

の期待は高く、また、狭山工場製造のスモークチーズ、ぬるチーズ、6Pチーズも好評で、特にテレビでも特集されたスモークチーズは認知度も高く、牛乳・乳製品の消費拡大に一役買う機会となりました。

また、東北酪農青年女性会議（半澤善幸委員長）は、行き交う来場者にチラシやエコバッグを配布しながら、農業の重要性や食の大切さを訴える『理解醸成活動』を行いました。

(I.M)



▲ 全酪連も出店しました

▼ 東北酪農青女による理解醸成活動



▲ 牛乳・乳製品フェア2016 MIYAGI



◀ 伊藤会長(中央)と
新旧ミルクキャンペーンキャラクター

東京
支所発

「栃木県酪農フェア2016」開催！

10月22日(土)栃木県酪農協会（石川正美会長）主催の「栃木県酪農フェア2016」が、那須塩原市の栃木県畜産酪農研究センターで開催されました。当日は、畜産酪農研究センターの第3回公開デーも併催され、今年は芳賀町にあった研究センター芳賀分場が、4月にこの那須塩原市の本場へ統合されて初めての開催ということでした。

会場は隣り合わせに二つに分かれ「消費者とのふれあいゾーン」では、バター作り体験やミルクバスボム工作、骨密度測定、とちぎの乳製品販売などたくさんのコーナーが設けられていましたが、栃木県酪農青年女性会議は、「牛乳入り豚汁コーナー」と「搾乳模擬体験コーナー」を出展し、消費者に牛乳・乳製品の消費拡大と酪農への理解をアピールしました。搾乳体験と同時に理解醸成活動も行われましたが、子供たちは搾乳体験に興味津々、大人たちはエコバッグ配布に興味津々という感じで、大いに賑わいました。

「ミルクの国ゾーン」のメインイベントは

「第26回栃木県ホルスタイン共進会」、11月に開催される関東地区ホルスタイン共進会の予選も兼ねて開催されました。本州最大の生乳生産量325千トンを支える優秀な乳牛が、第1部から第8部まで数多く出品されました。来場者は、綺麗に手入れされた出品牛を見つめて、審査講評がされる度に歓声と拍手を送っていました。会場にはトラクターが展示されていましたが、12月発売予定の国産超大型トラクターが目を引きました。

栃木県畜産酪農研究センターの第3回公開デーとしては、数々の試験研究結果などがパネル展示されていましたが、国が力を入れている飼料米、米粉サイレージの給与試験の結果が公表されていました。この他にチーズ・アイス作り体験や子牛ふれあい牧場・獣医さん体験、堆肥の無料配布などのコーナーもありました。

栃木県酪農フェア2016は、共進会の閉会式の終了とともに、盛況のうちに終わりました。

(I.Y)



◀ 共進会の審査風景

▶ 搾乳体験コーナー



◀ 酪農フェアの様子

名古屋
支所発

浜名酪農協 「組合員家族懇親会」開催される

9月30日(金)、静岡県浜松市の舘山寺サゴロイアルホテルにおいて、浜名酪農業協同組合(伊藤光男代表理事組合長)の組合員家族懇親会が開催されました。

現在生産者は38戸ですが、当日は家族を含め58名の方が参加しました。会場へは、本所(浜松市)と小笠支所(掛川市)か



▲挨拶する伊藤組合長
らそれぞれ送迎バスが出発し舘山寺にて集合しました。

懇親会は、伊藤組合長からの「今日は大いに懇親を深めていただきたい」との挨拶と来賓の方々からの祝辞のあと、竹田理事による乾杯でスタートしました。

▶ 竹田理事による乾杯発声



現在、組合員は浜松市・湖西市・掛川市・菊川市と広範囲に分布しており、日頃なかなか全員が家族ぐるみで顔を合わせる機会もないことから、懇親会は情報交換など様々な会話で盛り上がり、充実した時間となりました。

これからも、このような企画を通じて、組合員の交流が広がっていくことが期待されます。

(Y.K)



▲ 懇親会風景

福岡
支所発

「九州・沖縄地区酪農団体協議会主催 会員役職員研修会」開催される

平成28年10月11日(火)、九州・沖縄地区酪農団体協議会(尾形文清会長)平成28年度会員役職員研修会が、会員役職員35名の参加の下、熊本市の阿蘇グランヴィリオホテルにて開催されました。

冒頭、主催者を代表して尾形会長より、「酪農家戸数が減少している現況で、規模拡大による方法で経営を維持する酪農家も増えているが、基本は家族経営の酪農家を守っていくことであり、本日の研修会を機により一層後継者問題に取り組んでもらいたい。」と挨拶がありました。



▲ 尾形文清会長

続いて、講師としてお招きした日本政策金融公庫 山崎政行氏より「酪農経営継承の課題と対

応」と題し講演がありました。

山崎氏は現場での経験を基に、



▲ 山崎政行講師

「現在、後継者不足により離農が加速的に増えている。親子間継承を基本としながらも第三者継承を進めていく必要があり、そのためには酪農家を取り巻く関係機関が積極的に関わっていかねばならない。」とわかりやすく話されました。

講演会後の質疑応答や懇親会では活発な意見交換が行われ、参加者からは「我々が直面しているテーマで大変勉強になった。今まで以上に取組んでいきたい。」との意見がよせられ、後継者問題に組織の関わりが重要であることが改めて認識されました。(U.T)



▲ 会場風景

福岡
支所発

「OAB（大分朝日放送）大感謝祭」 に参加しました！

福岡支所では、10月1日(土)～2日(日)の2日間、JR大分駅前広場で開催された「OAB大感謝祭“もっとJIMOTTO!”」



▲ 会場シンボル

に、今年初めてブースを出展しました。様々な食品を紹介するブースが立ち並び、当支所も新商品“おいしいスモークチーズ”を中心に乳製品の試食販売を行い、大変好評を得ました。また、ブースでは酪農理解醸成を目的としたパネルゾーンの設置やチラシの配布を行い、消費者に対し酪農に関する理解醸成を訴えました。

開催期間中、パネルに見入る方や熱心に酪農の現状について質問される方も多く、酪農理解醸成の取り組みとして有意義な活動とすることができました。

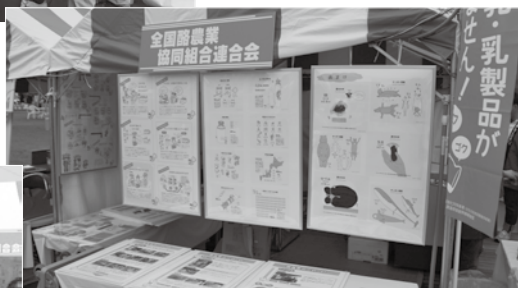
(U.T)



▲ 陳列商品



▲▼▶ ブース風景



福岡
支所発

開催！「第6回かごしま酪農おごじょの集い」

平成28年10月20日(休)、鹿児島県酪農青壮年女性会議（小園千弘委員長）主催の第6回かごしま酪農おごじょの集いが鹿児島サンロイヤルホテルにて開催されました。

現在の組織に統合してからは初めての集会に、日頃酪農に励まれるおごじょ（意味：お嬢さん）の方々約90名参加されました。



冒頭、迫千恵子副委員長より「酪農青壮年女性会議として再出発することができました、牧草の収穫や稲刈りで忙しい時期ではありますが、本日は仕事を忘れて楽しんでください。」との主催者挨拶に続き、鹿児島県酪農業協同組合、内匠秋夫代表理事組合長より挨拶があり、現在の厳しい酪農状況の中でも酪農に励まれている会員の方々への感謝の言葉が述べられました。

として再出発することができました、牧草の収穫や稲刈りで忙しい時期ではありますが、本日は仕事を忘れて楽しんでください。」との主催者挨拶

に続き、鹿児島県酪農業

中盤は各酪農女性部によりコーラスや踊り、サプライズなど出し物があり、会場を和ませたり盛り上げたりと、終始楽しい雰囲気に包まれていました。

後半は、鹿児島市立瀬々串小学校教諭である尾場瀬優一氏より「酪農教育ファームで酪農家から学んだ事」と題し講演がありました。尾場瀬氏は、貧しかったころの自分の体験談や酪農に生きる人々の生きざまについて紹介され、命とは何なのかを継承していくことの大切さや、その継承を手助けしていくことへの喜びや誇りについてとても熱く語られました。講演会後は尾場瀬講師手作りのお菓子の配布や、抽選会が行われるなど、会員の方々は楽しい時間を過ごされ、今後の酪農へのやる気につながる素晴らしい時間となりました。（U.T）



▲ 尾場瀬優一講師



◀◀ 演目風景

▶ 会場風景





No.282
中川重美牧場
北海道雄武町

▲ 左より京子さん、重美さん、敬貴さん

「先を見据えた酪農経営 ～搾乳ロボット活用で省力化～」

地域の紹介

雄武町は北海道北東部に位置するオホーツク海沿岸の町です。毛がに、ホタテ、鮭と言った北海道を代表する海産資源と、広大な大地を利用した畜産資源に恵まれ、四季折々の美しい自然や大地・海の恵みを楽しむことができます。

中川牧場の所属する北オホーツク

農業協同組合（吉田隆好代表理事組合長）は、生乳出荷戸数125戸、生乳生産量は87,895t（いずれも平成28年1月末時点）となっています。



▲ 新牛舎全景

牧場の概要

中川牧場は、今回お話を伺った経営主の重美さんご子息の敬貴さん、重美さんの奥様の京子さん、



従業員1名で作業をされています。

現在は経産牛約170頭（うち乾乳約20頭）、育成牛約130頭を飼養され、平成27年度出荷乳量は1,622tとなっています。草地は借地を含め約140ha所有しており、デントコーンの作付はなく全て牧草畑です。植生はチモシー主体、圃場によりアルファルファとの混播です。1番草の約8割と2番草の約5割をグラスサイレージとし、残りはロール（乾草・ラップサイレージ）にしています。

牧場の始まりは、重美さんのお父様である重太郎氏が昭和初期に愛媛県から隣町の枝幸町に入植し、その後現在の地に移り、

馬鈴薯の作付と澱粉工場経営を経て昭和21年に貸付牛を導入したことに遡ります。昭和29年頃から酪農主体の経営に移行され、その後昭和46年に就農した重美さんとともに牛舎や堆肥舎の建設を進め規模拡大に取り組んできました。重太郎氏は酪農の先進技術への取組や地域活動への貢献が評価され平成17年に瑞宝単光章を受章されました。敬貴さんは酪農学園大学を卒業後すぐにご実家で就農されました。

飼養管理

搾乳牛のうち約130頭を2群に分けて搾乳ロボット2台で管理しています。同じ牛舎内に育成後期群、乾乳牛群を置き、そのほかに旧つなぎ牛舎にて治療牛や産褥牛、搾乳ロボット不適合牛など20頭余りの搾乳牛と育成牛を飼養しています。

搾乳ロボット管理の搾乳牛には飼槽にてグラスサイレージ主体のTMRを給与し、さらに搾乳ロボット内で個体ごとの乳量や乾乳前日数に合わせて乳配飼料とタン

パクサプリメントを給与しています。牛群の状態やグラスサイレージの分析値、乳量、乳成分などを参考にしながらTMRの内容や搾乳ロボットでの配合給与量を定期的に調整しています。搾乳ロボット群の現在の個体平均乳量は約33kg前後で推移しています。つなぎ牛舎の搾乳牛にはグラスサイレージを飽食させ、分離給与で乳配飼料を1日に6回給与しています。今年は長雨の影響で1番草を適期に収穫が行えず、成分が低下して



◀ 新牛舎ではロボットにより2時間に1度は餌押しを行う

▶ 搾乳ロボット



いるということでした。2番草も長雨に加え度重なる台風上陸の影響で収穫時期が遅れたため、今後の生乳生産への影響を心配されていました。

搾乳ロボットの導入

中川牧場では平成24年に搾乳ロボットを2機導入し、それに伴うフリーストール牛舎を設立しました。敬貴さんの就農が決まり牛舎新設の計画はありましたが、当初重美さんは搾乳ロボットの導入は考えていませんでした。一方敬貴さんも大学在学当時は同様でしたが、偶然視察で訪れた牧場で牛がスムーズに搾乳ロボットに入っていく様子を見て、やり方次第では労力軽減につながると考え方が変わったと言います。平成20年に敬貴さんが21歳で就農され、本格的に搾乳ロボット導入を考え始めました。しかし当時搾乳ロボットは普及が始まったばかりで前例が少なく、不安も大きかったようです。そのような中ではありましたが、先に導入した農家の視察と新牛舎稼働に向けた牛の増頭等の準備を進め、平成24年について搾乳ロボットを2機導入、それに合わせた牛舎新設を開始しました。

当時は補助事業等において搾乳ロボット導入費用の助成は認められておらず、L資金を利用して牛舎新設を行いました。重美さんは、当時は政権交代間もなく円高であったこと、搾乳ロボット普及が進まずメーカーも底値まで価格を落としていたことから、よいタイミングで導入できたとお話されましたが、雄武町では4番目となる

▶ 新牛舎内部



周囲に事例が少ない中で、先進的な導入でした。さらに中川牧場は当時の最新機種を新設で設置した全国初の牧場となりました。重美さん、敬貴さんはもちろんメーカーまでも手探り状態で、牛舎レイアウトの変更や稼働後のトラブルなど、なかなか思うように進まないことがありました。また、稼働1年目は機械の凍結問題にも悩まされました。

しかし旧つなぎ牛舎時から入れ替え搾乳を実施しながら牛の増頭を進めていたため、稼働後は自家後



▲ 旧つなぎ牛舎とサイロ
赤いレンガ作りで外観も素敵でした

▼ 旧つなぎ牛舎内部



継牛ですぐに牛舎を満たすことが可能となり、導入初年度の860tから、1200t、1600tと順調に乳量を増やすことができました。牛たちは新牛舎にも比較的すぐ慣れ、また牛が増えたことで牛舎内の気温が上がり、2年目からは凍結問題も同時に解決することができました。



▲ 首元のセンサーにより個体ごとの乳量、体重、反芻等を把握し、繁殖管理に繋げる

現在は搾乳牛130頭を2人、時には1人で管理され、除糞、ベツドメイキング、繁殖管理、慣れない牛のロボットへの追い込みを行っています。パーラーであれば少なくとも3人は必要となる飼養頭数を少数人数で管理できるのは搾乳ロボットのおかげ、と当時の苦労を振り返りながらも導入による省力化を实

感されていました。またご自身の経験から、搾乳ロボットは導入後償還のためにもすぐに牛を増やしていかねければならない。パーラーに比べ乳器や牛の性格など搾乳できる牛群が限られることから購入に頼らず自家育成で良い牛をそろえておくことは大切、と語られました。

今後について

搾乳ロボットの導入と新牛舎建設から最近までは収容可能頭数の確保が第一優先であったため、搾乳ロボット群に残す牛の選別はなかなか出来ませんでした。今ではベッド数を満たすことができ、選別して牛の更新を行えるようになってきました。今後は、頭数を維持しながら搾乳ロボットに合う乳頭配置や泌乳スピードなど、牛群の改良を目標にしたい。また、現在旧牛舎で管理している育成牛の作業効率化や、牧草収穫作業の外部委託等、省力化を進めゆとりのある酪農経営を目指していくと、重美さんに代わって敬貴さんは穏やかにでも力強く語られました。昨年は糞尿処理労力軽減のための

大型トラクタ―導入、今年はバンカーサイロ増設と今後の目標に向かい着実に前進していきます。



▲ バンカーサイロ

終わりに

重美さんは世界情勢も酪農も、自分の若い頃からこんなふうに変わるとは思わなかった！と様々なことを教えてくださいました。広い視野で世界を見られているからこそ、当時最先端の搾乳ロボットも柔軟に受け入れそれを活用できているのだと感じました。

また日本の酪農について、他の酪農先進国のように恒常的に酪農の将来を見通せる国になってほしいとの言葉が大変印象的でした。この度は大変お忙しい中、取材へのご協力誠にありがとうございました。中川牧場の皆様のご健康と今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

酪政連活動報告

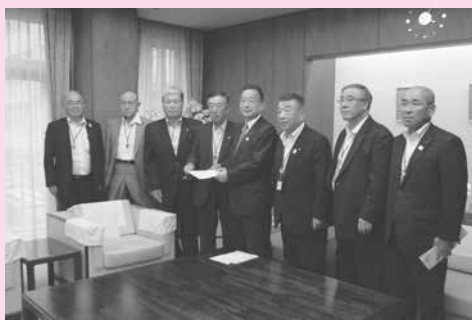
平成 28 年 9 月～ 10 月

日本酪農政治連盟

三役会議を開催 (於:酪農会館地下特別会議室)

- ◆ 規制改革会議の指定団体制度の議論に対する取組みについて等を協議
- ◆ 山本有二農林水産大臣、小泉進次郎農林部会長に面談、「指定生乳生産者団体制度の存続に関する要請」、及び「平成 29 年度酪農政策・予算確保について」を要請

9/8



9/26

事務所を全理連ビル 3 階に移転

10/12

三役会議を開催 (於:酪政連事務所)

- ◆ 「指定団体制度について」を協議

10/19

三役会議、常任・中央合同委員会を開催 (於:全理連ビル)

- ◆ 「指定団体制度について」を協議

自由民主党酪政会総会が開催される (於:参議院議員会館)

- ◆ 「指定生乳生産者団体制度の存続に関する要請」、及び「平成 29 年度酪農政策・予算確保について」を要請

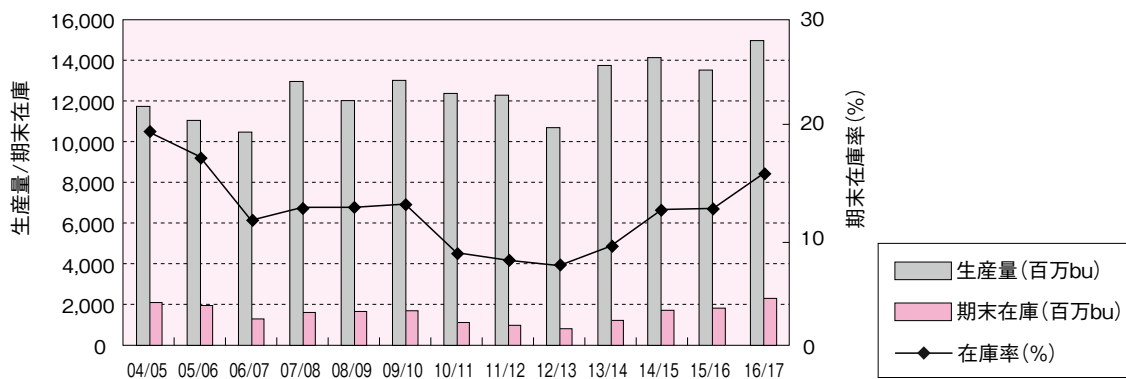


原料情勢

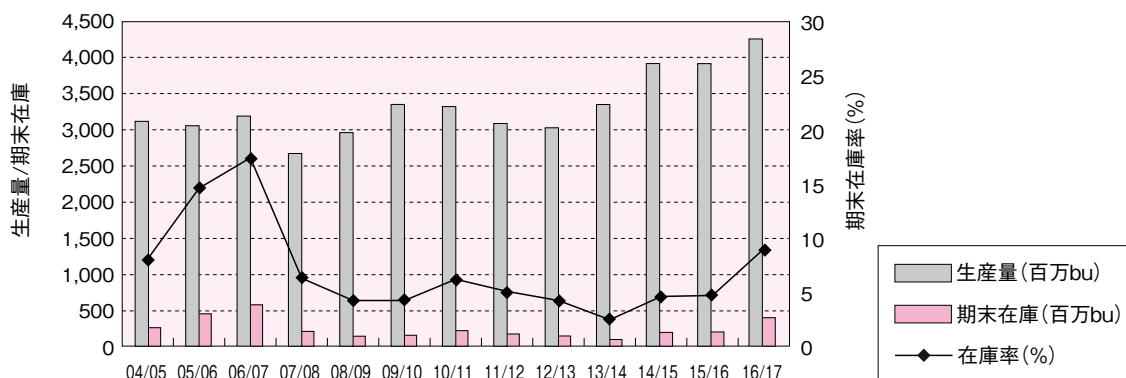
平成28年10月

10月12日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	【15/16年産】 作付面積88.0百万エーカー、単収168.4bu/エーカー、生産量136億100万bu、総需要量136億6,200万bu、期末在庫17億3,800万bu、在庫率12.7% 需要面で減少し、供給面は増加。
	【16/17年産】 作付面積94.5百万エーカー、単収173.4bu/エーカー、生産量150億5,700万bu、総需要量145億2,500万bu、期末在庫23億2,000万bu、在庫率16% 需要面で増加し、供給面は減少。期末在庫は減少。
トウモロコシ 相場動向	とうもろこしの生産量は雨天が観測され収穫の遅れが懸念され値を上げたが、その後天候が回復すると値を下げた。取引開始後、前月からの下方修正の思惑から340セント/ブッシェル後半まで値を上げた。発表内容は過去最高水準である。今後は、輸出を主とする需要面と現在順調に進んでいる南米の作付け状況に注意が必要。
10月12日発表 米国農務省 大豆需給予想	【16/17年産】 作付面積83.7百万エーカー、単収51.4bu/エーカー、生産量42億6,900万bu、総需要量41億100万bu、期末在庫3億9,500万bu、在庫率9.6% 需要供給両面で増加し、期末在庫は増加。
大豆相場動向	米国産は米国農務省発表の需給予想(16/17年度産)で、単収が予想通り上方修正され供給面では前月対比70百万bu増加、需要面でも40百万bu増加し、期末在庫は30百万bu増加。国内産は、搾油量は引き続き前年並みで安定。輸入品は中心となっている中国で引き続き国内需要が好調であるが、価格はシカゴ相場の影響を受け軟調に推移している。シカゴ相場は北米産は良好な生育環境により、史上最高の豊作が見込まれる状況から軟調に推移。北米の収穫は半ばを過ぎ順調だが、早霜等には注意を。また中国からの大量買付が相場に大きな影響を与える可能性もある。
糖種類	【一般フスマ】フスマは製粉メーカーでの発生量(挽砕)は季節的に増加する時期であるが、前年並みで安定。今期の改定では価格を下げたが、まだ大きな配合量の増加等は見られておらず需給は緩んでいる状況。今後は使用量が増加するのではと見られている。
	【グルテンフィード】今期は値上げとなった。輸入品も順調に入り、値上げも併せてタイト感の解消が期待される。輸入品は中心となる中国でフィードと置換性の高いDDGSの輸入停止の噂があり、価格高騰が懸念されるが、今のところ落ちついた相場環境。
海上運賃	太平洋水域では石炭、穀物の引き合いが散見され強地合いの展開となった。ケーブルサイズ型の船運賃は上昇。パナマックス型もつられて上昇。米国ガルフ界限はまだ弱地合いとなっているが、他水域は引き合いが強くなってきている。原油価格も堅調に推移していることから、海上運賃は強含みで推移していくと思われる。

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移



輸入粗飼料の情勢

平成28年10月

北米コンテナ船 フレート	9月5日にコンテナ取扱量世界第7位（シェア3%）、韓国大手の韓進海運に会社更生法が適用され、一部物流に混乱が生じています。会社更生法の適用により、港湾での作業料等の不払いを恐れ、世界の様々な港が韓進海運の船の入港を拒否していました。現在、この状況は徐々に解消されていますが、まだ入港出来ずに沖待ちとなっている本船もあるようです。 10月1日からの海上運賃一斉値上げ（GRI）については、ほぼすべての船社でGRIが実施され、10月出航以降の海上運賃はほぼ例外なく値上げとなります。さらに、11月以降もGRIを実施したい意向を見せている船社もあるため、海上運賃は上昇基調の局面に入ってきたと言えます。
ビートパルプ	【米国産】日本向けの主産地ミネソタ州及びノースダコタ州では、例年より若干早い8月18日～20日にかけて収穫がスタートし順調に推移しています。その他の地域でも順次収穫がスタートしており、9月の中旬には多くの地域の工場で稼働がピークを迎えており、主産地全体では昨年並みの良好な作柄と言えます。 中国では米国産ビートパルプに関して、輸入許可品目としていつ正式にアナウンスされるのを待っている状態です。中国が輸入を始めた場合、日本のビートパルプ市場への影響は避けられないと考えられます。
アルファルファ	【ワシントン州】主産地のコロンビアベースンでは4番刈の収穫が終盤を迎えており、南部では5番刈の収穫が始まっているところもあります。4番刈においても、程度の差はありますが雨当たりの被害が発生している模様です。品質については、多くの圃場でウィンドローの時期に強風の日が続き、過乾燥気味な仕上がりになっています。一方で、今年の4番刈は全体的に早刈り傾向にあり、冷涼な気候も手伝って高成分に仕上がったものが多いようです。 【オレゴン州】南部のクラマスフォールズでは現在3番刈の収穫が終盤を迎えています。3番刈の品質は、生育・収穫の進捗が早いこともあり、見た目・成分ともに2番刈に近い品質が多く発生しているようです。 中部のクリスマスバレーでも、9月中旬に3番刈が開始され、9月末にはほとんどの圃場で収穫が終了しています。3番刈はややブリーチが多いものの、例年並みのやわらかい品質に仕上がったものが多いようです。 【カリフォルニア州】南部インペリアルバレーでは6番刈の収穫まで進んでいます。引き続き成分が低いものが多く生産されていますが、中国からの需要は衰えておらず、一部の輸出不適格なものや低成分のもの除き、産地相場は堅調に推移しております。
チモシー	【米国産】主産地のエレンスバーク、コロンビアベースンともに2番刈の収穫を終えています。2番刈は相場の低迷を背景に、とうもろこしや豆類への転作が増え、作付面積は昨年比30～40%減少したと言われています。2番刈の品質については、収穫期の高温と高湿度により上級品の発生量が限られています。米国内向けの需要が堅調なことに加え、1番刈の上級品の発生も限られたことから、相場は高騰し1番刈よりも高値で推移しています。 【カナダ産】アルバータ州南部のレスブリッジの1番刈は収穫期の悪天候により、最上級品の発生はなく、上級品はごく一部生産されたものの、中級品が中心の作柄となっています。 アルバータ州中部のクレモナも、収穫期の不安定な天候により良品がほとんどない状況です。生育期の早魃により、今年の単収は例年の6割程度まで落ち込んでおり、加えて収穫期の悪天候の影響により、上級品の発生はほぼない状況で中級品から低級品が中心となっています。
スーダングラス	主産地インペリアルバレーのスーダン収穫はほぼ終了しています。作付面積は9月16日現在で昨年の半分程度になっています。これは多くの生産農家が相場低迷による収益悪化から早めの休耕や転作を行ったことが原因と言われています。 北カリフォルニアにおいても、産地価格の下落から昨年に比べて作付面積が大幅に減少しており、野菜等のより換金性の高い作物への生産に移行しています。両産地とも生産量の減少により、現地相場は強含みとなっています。
クレイングラス	クレインは全酪連の登録商標です。 クレイングラスの収穫は9月末時点で5番刈の終盤を迎えています。作付面積の減少傾向は続いているため、5番刈以降の大幅な生産量の増加は見込めず、湿度が高まる時期にも入っていることから、今後多くの良品が発生する可能性は低いと言えます。生産面の状況に加え、日本と韓国からの需要は堅調に推移していることから、今後、良品の産地相場が軟化することは考えにくい状況です。
ストロー類	主産地のオレゴン州ウィラメットバレーではストローの収穫は8月中旬に終了しています。ライグラスストロー、フェスクストローともに降雨被害は大きく、雨あたりを避けられた良品への引き合いは強まる見込みで、これらの価格は今後堅調に推移すると思われます。
オーツヘイ	【西豪州】西豪州では、総じて播種期前後から降雨に恵まれ、生育は順調に進んでいます。降水量が比較的小さい北部や内陸部では一部圃場で収穫作業が始まっており、ベアリングまで終了している圃場も出てきています。しかしながら、大半の地域では9月に入っても気温が予想よりも上がらず、毎週のように降雨の予報が出ていることから、収穫作業がほとんど進んでいない状況です。すでに収穫された地域での降雨被害も報告されており、現時点では過去2年のような高成分傾向の良品は少なく、苦戦を強いられる要素が多いと判断できそうです。 【南豪州】9月下旬に荒天に見舞われました。これらの地域は牧草の主産地とは異なりますが、一部の圃場では収穫直前のものに倒伏等の被害が出ている模様です。収穫は今後本格化していきますが、西豪州と同様に例年以上の降雨があり、気温も十分上がらないとの予報が出ているため作柄への影響には注視が必要です。 【東豪州】東豪州も断続的な降雨が観測され降水量は例年以上となっています。降雨により圃場の土壌水分が高く、収穫に入れないが増えていくようです。この影響で適期に収穫できない圃場も増えそうです。さらには、風雨による倒伏も多くみられるよう品質の劣化が増え、上級品の発生が限定的になってくるおそれもあると言われています。このように、東豪州においても現時点では上級品が多く発生しうる環境とは言えません。 主産地全3州における新穀の上級品の発生は限られてくる可能性が高くなってきています。この状況を考慮し、一部のサプライヤーは生産農家が保有している未契約分の旧穀の上級品を高値で積極的に買いつけています。高値で旧穀在庫を買い足していることに加え、豪州航路でも海上運賃の値上げが始まっており、10月以降の旧穀価格は大幅に値上がりしています。

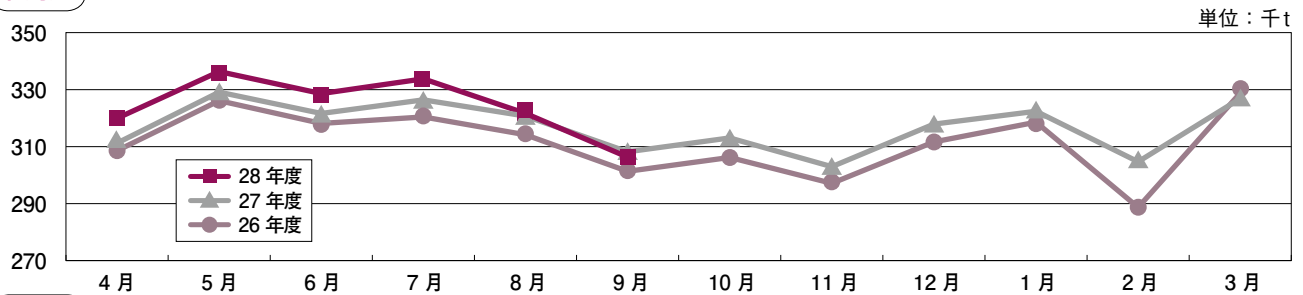
生乳受託販売乳量

受託販売乳量

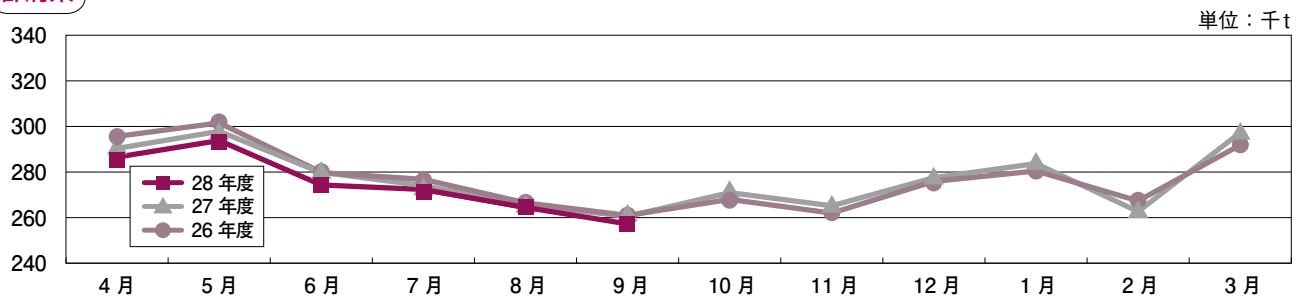
全国 **563,554t** で、前年同月比 **5,622t(1.0%) 減少**
 北海道 **306,324t** で、前年同月比 **1,867t(0.6%) 減少**

都府県 **257,230t** で、前年同月比 **3,755t(1.4%) 減少**

北海道



都府県

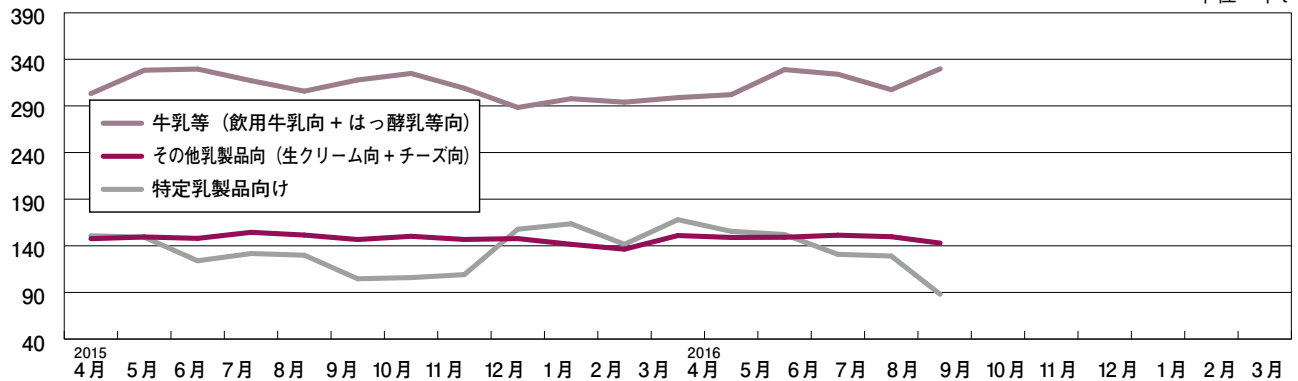


用途別販売数量

飲用向 **293,935t** で、前年同月比 **13,182t(4.7%) 増加**
 はっ酵乳向 **36,768t** で、前年同月比 **283t(0.8%) 減少**
 クリーム向 **110,903t** で、前年同月比 **1,315t(1.2%) 減少**

チーズ向 **32,936t** で、前年同月比 **1,569t(4.5%) 減少**
 特定乳製品向 **89,012t** で、前年同月比 **15,636t(14.9%) 減少**

単位：千 t



各地の需給動向

【東北】生産は、前年比 97.9%。台風の被害もあり生産伸び悩んだ。飲用向け中心に乳業者の処理は好調。飲用牛乳向けは 100.6%、はっ酵乳等向け 96.1%、特定乳製品向けは 76.8%となった。

【関東】生産は、前年比 98.9%。乳業者処理は月間通して天候悪く、好調とは言えないものの北海道の供給が台風の影響で一時的に停止していたことから、需給は逼迫していた。飲用牛乳向けは 101.0%、はっ酵乳向け 98.5%、特定乳製品向け 75.0%。

【東海】生産は、前年比 99.6%。生産は好調に推移した。乳業者処理は台風の影響による北海道供給停止により、逼迫した。飲用牛乳向けは 99.4%、はっ酵乳等向けは 104.4%、加工向けは 87.4%。

【近畿、中国、四国】生産は、上旬涼しく回復も中旬は横ばい推移。下旬より徐々に伸び始めた。近畿 98.3%、中国 100.9%、四国 99.7%。飲用牛乳向けは近畿 98.3%、中国 102.4%、四国 99.5%となった。

【九州】生産は前年比 97.2%。当初見込みは 94.1%と低く見たが、月初より涼しい気候が続き、大きく上振れした。処理は、飲用牛乳向けは 97.0%、はっ酵乳向け 104.5%、特定乳製品向け 71.4%となった。

用途別生乳処理量

単位：千t

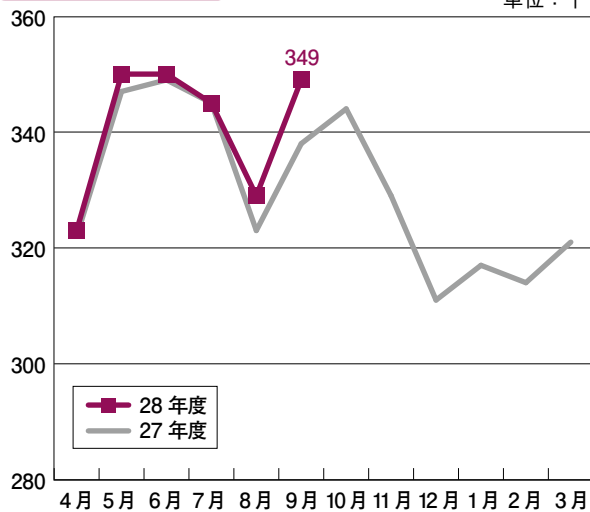
年月	生乳生産量	用途別処理量計							年月	生乳生産量	用途別処理量計						
				乳製品向									乳製品向				
				特 定 乳製品向 ②	その他乳製品向								特 定 乳製品向 ②	その他乳製品向			
牛乳等向 ①			ク リ ャ ム 向 ③		チ ー ス 向 ④	牛乳等向 ①			ク リ ャ ム 向 ③	チ ー ス 向 ④							
2015. 4 月	625	620	322	298	148	150	114	37	2016. 4 月	633	626	323	303	157	145	108	37
5 月	649	644	347	297	151	146	109	37	5 月	653	649	350	299	152	147	108	39
6 月	625	620	349	271	126	145	107	38	6 月	626	622	350	272	128	143	105	38
7 月	629	624	338	286	133	153	110	43	7 月	631	627	345	282	132	150	111	39
8 月	608	604	323	281	133	148	107	41	8 月	610	606	329	277	130	147	108	40
9 月	593	588	338	250	107	143	107	36	9 月	586	581	349	232	90	142	107	35
10 月	603	599	344	255	107	148	111	37	10 月								
11 月	588	584	329	255	110	146	110	36	11 月								
12 月	620	616	311	304	158	147	109	37	12 月								
2016. 1 月	627	623	317	305	165	140	101	39	2017. 1 月								
2 月	595	591	314	277	142	135	100	35	2 月								
3 月	644	639	321	318	170	148	109	39	3 月								
年 度 計	7,407	7,352	3,953	3,398	1,649	1,749	1,295	455	年 度 計	3,740	3,711	2,047	1,664	790	875	647	228

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

単位：千t未満を四捨五入した数値を標記しているため、各項目の合計と表の合計とが合致しない場合がある

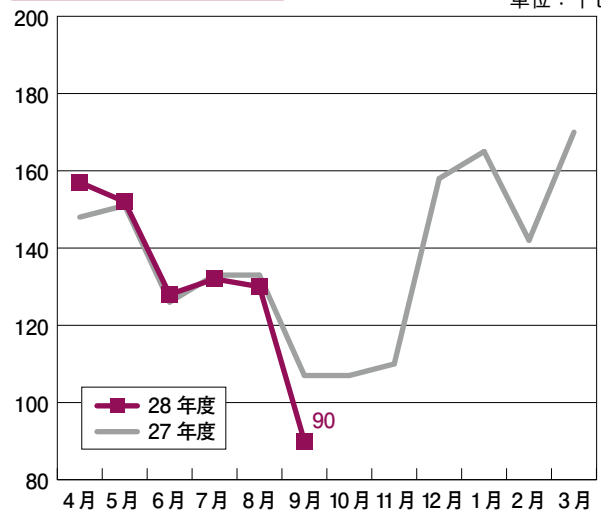
① 牛乳等向処理量

単位：千t



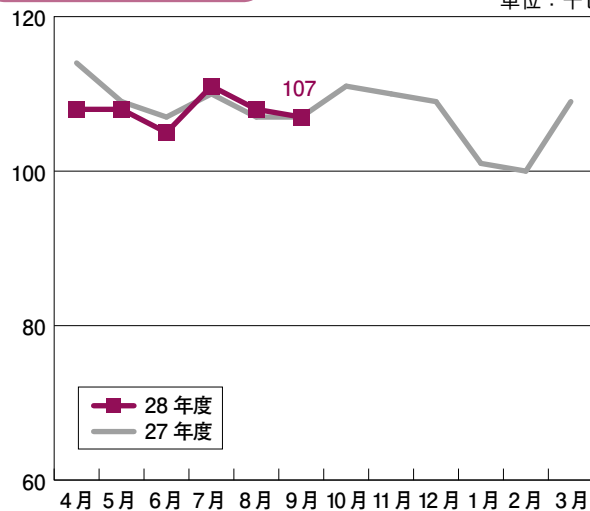
② 特定乳製品向処理量

単位：千t



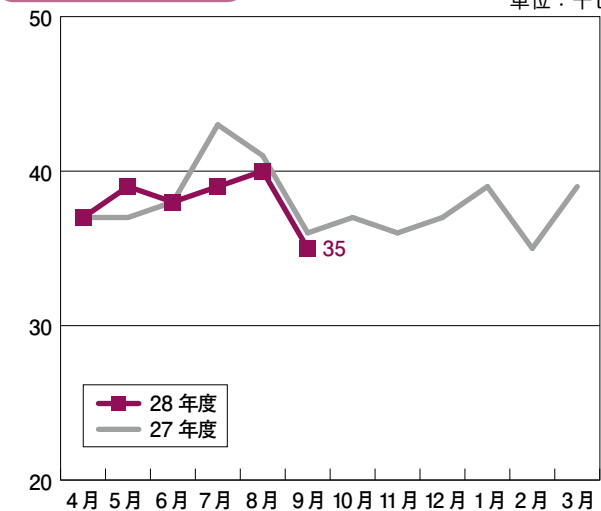
③ クリーム向処理量

単位：千t



④ チーズ向処理量

単位：千t





島原手延うどん平造り21束 (化粧箱入)

税込**2,600円**(本体2,407円)

- 平造りうどん1束50g×21束
(アレルギー物質) 小麦
- お取扱期間 16/11/15~17/1/31



伝統の手延技術を駆使して造られる「手延うどん島原平造り」はつるつとして、コシの強い口当たり滑らかな麺です。また、卵型の麺はのど越し良くお楽しみいただけます。

【製造者】株式会社素兵衛屋(長崎県南島原市)



島原手延うどん あごだしセット (化粧箱入)

税込**3,800円**(本体3,519円)

- 平造りうどん1束50g×4×4袋
- 手延うどん1束50g×4×2袋
- あごだしスープ1袋10g×14
(アレルギー物質) 小麦 / さば / 大豆
- お取扱期間 16/11/15~17/1/31



伝統の手延技術を駆使した「手延平造りうどん」とゆて時間を考慮した細造りの「島原うどん」そして、スープを加えた詰め合わせセットです。つるつとしてコシのある麺をお楽しみできます。

【製造者】株式会社素兵衛屋(長崎県南島原市)



全酪ラーメンセット

税込**4,536円**(本体4,200円)

- 全酪博多ラーメン
(とんこつ味×5、みそ味×5、しょうゆ味×10)
(アレルギー物質) 小麦 / 大豆 / 牛肉 / 鶏肉 / 豚肉 / 魚介類 / ゼラチン
- お取扱期間 16/11/15~17/1/31



豚がら、鶏がらをじっくり煮込んだコクのある博多とんこつラーメンとみそ風味を生かしたラーメン。各種野菜エキスをバランスよく調整したキレのあるしょうゆのラーメンセットです。

【製造者】江崎製麺有限公司(福岡県筑後市)



新生酪農 アイスクリームセット

税込**4,500円**(本体4,167円)

- バニラ90ml×3
- チョコ90ml×3
- いちご90ml×3
- 緑茶90ml×3
(アレルギー物質) 乳
- お取扱期間 16/11/15~17/1/31



牛乳がもつ自然な風味と美味しさを大切に考え、卵、安定剤、乳化剤は使用せず、牛乳、クリーム、脱脂濃縮乳等を主原料につくりました。素朴でミルク風味たっぷりのアイスクリームです。乳製品、いちご、緑茶、砂糖は国産原料です。

【製造者】新生酪農株式会社 千葉工場(千葉県長生郡)



ロールケーキと大福の 詰め合わせ

税込**3,348円**(本体3,100円)

- ロールケーキ264g×1
- 生クリーム大福100g×2
- 抹茶クリーム大福100g×2
- きなこクリーム大福100g×2
(アレルギー物質) 卵 / 乳 / 小麦 / 大豆
- お取扱期間 16/11/15~17/1/31



しっとり食感のスポンジでミルク風味豊かなホイップクリームを巻いたロールケーキと、なめらかな餅で生クリーム入りのホイップクリームと粒あんを包み込んだ生クリーム大福、抹茶風味のなめらかな餅で抹茶風味のホイップクリームと粒あんを包み込んだ抹茶クリーム大福、きなこ風味のなめらかな餅で国産きな粉・沖縄黒糖を使用したきなこホイップクリームと粒あんを包み込んだきなこクリーム大福を詰め合わせたギフトセットです。

【製造者】大山乳業農業協同組合(鳥取県東伯郡琴浦町)



奥中山アイスSセット

税込**4,212円**(本体3,900円)

- バニラ130ml×2個
- ブドウ130ml×2個
- 洋なし130ml×2個
- イチゴ130ml×2個
(アレルギー物質) 乳 / 卵

奥中山アイスセット

税込**5,508円**(本体5,100円)

- バニラ130ml×2個
- ブドウ130ml×2個
- 洋なし130ml×2個
- イチゴ130ml×2個
- コーヒーマー130ml×2個
- 抹茶130ml×2個
(アレルギー物質) 乳 / 卵
- お取扱期間 16/11/15~17/1/31



岩手県の奥中山高原で育ったカナディアンジャージー種の生乳を贅沢に使った、コクのあるスーパープレミアムな味わいのアイスクリームです。着色料等を使用せず、自然のおいしさにこだわりました。SセットとIセットの2種類のセットをご用意しております。

【製造者】奥中山高原農協乳業株式会社
(岩手県二戸郡一戸町)



長崎カステラセット 2本入り

税込**3,024円**(本体2,800円)

- 牛乳風味370g×1本
- チーズ風味370g×1本
- ※10等分カットタイプ
(アレルギー物質) 小麦 / 乳 / 卵

長崎カステラセット 3本入り

税込**4,104円**(本体3,800円)

- 牛乳風味370g×1本
- チーズ風味370g×1本
- 蜂蜜風味370g×1本
- ※10等分カットタイプ
(アレルギー物質) 小麦 / 乳 / 卵
- お取扱期間 16/11/15~17/1/31

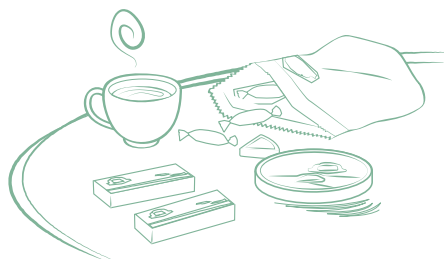


牛乳、チーズをふんだんに使用したカステラはふっくらで、しっとりとしたキメ細やかな生地が特徴です。地域ブランド「長崎カステラ」の認定工場て製造しております。2本入りと3本入りの2種類のセットをご用意しております。

【製造者】有限会社杉谷本舗
(長崎県諫早市)

ZENRAKU

Winter Gift 2016



今年も「全酪連ウィンターギフトセット」のお取り扱い時期となりました。毎年多くの皆様よりご愛顧いただき感謝申し上げます。今年お世話になった方々、大切な方々への贈り物に、是非ご利用頂きますよう宜しくお願い致します。



チーズ



Heart FarmセレクションA

(全酪乳製品セット)

税込3,500円(本体3,241円)

- HFチーズ225g×1個
 - HF6Pチーズ108g×1個
 - HFとろけるスライスチーズ126g×1個
 - HFスライスチーズ126g×2個
 - HFスモークチーズ120g×1個
- 〈アレルギー物質〉乳
お取扱期間 16/11/15~17/1/31



Heart FarmセレクションB

(全酪乳製品セット)

税込5,000円(本体4,630円)

- HF6Pチーズ108g×2個
 - HFとろけるスライスチーズ126g×1個
 - HFスライスチーズ126g×1個
 - HFスモークチーズ120g×1個
 - ゆるチーズ150g×1個
 - HFチーズ225g×1個
 - 酪農家バター200g×1個
- 〈アレルギー物質〉乳
お取扱期間 16/11/15~17/1/31



東毛酪農 カマンベール3個セット

税込2,830円(本体2,620円)

- カマンベールチーズ100g×3個
- 〈アレルギー物質〉乳
お取扱期間 16/11/15~17/1/31



おいしいチーズを作るために厳選した農家の生乳を使い、伝統的な手造りの製法で造られたカマンベールチーズ(ナチュラルチーズ)を熟成した食べ頃の状態に密封パックしました。パッケージを開けた時が『食べ頃』で、やさしい味わいが楽しめます。『第4回オール・ジャパン・ナチュラルチーズコンテスト』のソフトタイプチーズ部門で優秀賞に輝く、珠玉の逸品です。

[製造者] 東毛酪農協同組合
(群馬県太田市新田市新井町)



steak 中華まん



八ヶ岳野辺山高原 ビーフまんセット

税込3,000円(本体2,778円)

- ビーフまん160g×6個
- 〈アレルギー物質〉乳、小麦、牛肉、大豆、こま
お取扱期間 16/11/15~17/1/31



皮に信州八ヶ岳野辺山高原3.6牛乳を、具材に長野県の南牧村産牛肉を使用した、ふっくらでしっとりとした食べ応えのあるビーフまんです。

[販売者] 株式会社ヤツレン
(長野県南佐久郡)



加工肉



DLG-420G (2014年金賞セット)

税込4,320円(本体4,000円)

- ベッパーシンケン72g×1個
 - ハーブシンケン80g×1個
 - 熟成乾塩ベーコン80g×1個
 - フライシュケゼ80g×1個
 - 辛口ボチキウィンナー150g×1個
 - ほそびきウィンナー150g×1個
- (アレルギー物質) 豚肉/大豆
お取扱期間 16/11/15~16/12/24



GT-400

税込4,320円(本体4,000円)

- 熟成糸巻コースハム360g
 - ばら焼豚200g
- (アレルギー物質) 小麦/大豆/豚肉
お取扱期間 16/11/15~16/12/24



SP-310

税込3,240円(本体3,000円)

- ももハム310g
 - ベーコン280g
- (アレルギー物質) 豚肉
お取扱期間 16/11/15~16/12/24



SP-510

税込5,400円(本体5,000円)

- 熟成糸巻コースハム320g
 - ベーコン280g
 - 焼豚310g
- (アレルギー物質) 小麦/大豆/豚肉
お取扱期間 16/11/15~16/12/24



一本一本丁寧に糸で巻き風味豊かにスモークしたコースハム、タレに漬け込んでじっくり焼き上げた風味豊かな焼豚、豚ばら肉をじっくり漬け込み仕上げたベーコンのセットです。

[製造者] 大山ハム株式会社



R-051

税込5,400円(本体5,000円)

- ローストビーフ(国産牛)200g×2個
- (アレルギー物質) 牛肉/乳成分/小麦/大豆/鶏肉/りんご
お取扱期間 16/11/15~16/12/24



焙煎胡椒とドイツ産岩塩でシンプルに味付けして国産牛の旨みをそのまま閉じ込めました。国産牛に旨みがじっくり詰まった存在感たっぷりのローストビーフです。



OC-40

税込3,908円(本体3,619円)

- 北海道フランク220g×1個
 - 北海道認証ベーコン80g×1個
 - あらびきウィンナー110g×1個
 - あらびきフランク200g×1個
- (アレルギー物質) 乳/豚肉
お取扱期間 16/11/15~17/1/31



OC-50

税込5,184円(本体4,800円)

- ベッパーボーク320g×1個
 - 北海道認証ベーコン300g×1個
 - あらびきウィンナー110g×1個
 - ガーリックウィンナー110g×1個
 - バジリコフランク240g×1個
 - あらびきフランク200g×1個
- (アレルギー物質) 豚肉
お取扱期間 16/11/15~17/1/31



おこっぺハムは、冷涼なオホーツクの大地の中で、北海道産の厳選豚肉のみを使用して、「おいしさ」を最大限引き出せるよう独自の塩漬製法によりじっくりと時間と手間をかけて製造しております。主原料は100%道内産の素材を使い、北海道らしさを将来性兼ね備えた食品に対して認定される「道産食品独自認証制度」の第1号の認証を受け、「品質=おいしさ」にこだわった商品作りをしています。

[製造者] 株式会社オホーツククリーンミート

■全国酪農協同組合連合会

- 本所 酪農部 (東京支所) 〒108-0014 港区芝4-17-5 相鉄田町ビル7F
TEL 03-5931-8008 FAX 03-5931-8025
- 札幌支所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西7-1 酪農センター
TEL 011-241-0765 FAX 011-241-0769
- 仙台支所 〒980-0021 仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル3F
TEL 022-221-5381 FAX 022-221-5384
- 名古屋支所 〒460-0008 名古屋市中区栄1-16-6 名古屋三蔵ビル3F
TEL 052-209-5611 FAX 052-209-5614
- 大阪支所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪トヨビル6F
TEL 06-6305-4196 FAX 06-6305-4899
- 福岡支所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-2-15 事務機ビル7F
TEL 092-432-2121 FAX 092-431-6313

取扱上のご注意

1. 配送地区に制限のある場合もありますので、ご確認ください。なお、離島につきましては原則として配達できませんので、予めご了承ください。
2. お申込後のご返品、お取り消し(お届け先様ご不在、ご移動で転居、受け取り拒否等による)扱いいたしませんので予めご承知おきください。
3. お届け先様のご不在における取扱は、配送業者の取扱規定により対応します。
4. 掲載商品の価格には消費税及び配送料が含まれております。
5. 問合せ内容・商品デザイン及び配列については、お断りなく一部変更する場合があります。
6. 商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
7. **冷凍** **冷蔵** マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります。
8. **簡易** **全** マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。また、表示のない商品には包装はありません。(簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。)
9. **普通** **短** マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの熨斗となります。



おかげさまで、全酪連取扱いの子牛育成用代用乳「カーフトップ」は2017年で供給開始から50年を迎えます。

北海道 乳牛産地情報

平成28年11月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇩……やや弱含み ↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	45~55	→	札幌管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計94.1%、累計で97.6%、苫小牧管内月計で96.9%、累計で97.6%の実績となっております。 札幌管内の初妊牛動向といたしまして、初妊牛の荷動きが早いことから、2月分娩が中心となると思われます。また、価格帯も他地区の相場に連動して大きく変動するものと思われます。販売に回る資源は少なくなっており、引き合いが強くなるにつれて、より価格の上昇が大きくなることが予想されます。
	初妊牛	70~80	▲	
	経産牛	50~55	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	50~55	▲	根釧管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で98.3%、累計で102.2%、中標津管内月計で99.1%、累計で101.2%の実績となっております。 根室、釧路管内の11月の初妊牛動向は、2月分娩予定の牛が中心となります。管内乳牛市場の10月相場は前月より更に約6~7万円上昇しました。資源不足に加え、引き続き大型牧場、新規就農農家、規模拡大農家の導入意欲が非常に強いことから初妊牛相場は更なる価格上昇が予想されます。牛の動きも更に早くなってきておりますので、条件に幅を持ったご注文をお願いします。
	初妊牛	80~90	▲	
	経産牛	55~65	▲	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	50~55	▲	帯広管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で100.6%、累計で102.9%の実績となっております。 十勝管内の11月初妊牛動向といたしまして、1月~2月分娩予定中心となりますが、大型農場の引き合いが非常に強く、並み以上の牛は軒並み80万円を超えての取引となるものと思われます。また、育成牛頭数減少による、育成牛価格の高騰も初妊牛価格の引き上げに大きく関与しております。腹内容として特に受精卵腹の価格上昇が著しく、庭先購買においても95~100万円前後で取引されております。今後、春分娩に向かうにつれ、今よりも更なる価格の上昇が予想されております。
	初妊牛	78~85	▲	
	経産牛	55~65	▲	
道北管内	育成牛(10-12月令)	55~60	▲	道北管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で101.6%、累計で101.7%、北見管内月計で100%、累計で100.3%の実績となっております。 全道各地では10月下旬から、公共、農協牧場の下牧が行われていますが、依然として豊富な資源とはならない状況です。11月の初妊牛動向は、1~2月分娩となりますが、道内大型牧場は更なる規模拡大を進めております。平成29年度に向けて1~2月分娩の乳牛需要が拡大しており価格が急上昇しております。やはりF1腹が中心となりますが、価格上昇の影響もあり雌雄選別腹の導入希望も増加傾向にあります。
	初妊牛	75~83	▲	
	経産牛	45~50	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	53~60	▲	道内の10月中旬までの生乳生産量前年比は99.6%、累計で101.3%の実績となっております。 11月の初妊牛動向につきましては、1月から2月分娩が中心となります。10月に引き続き11月も道内外の新規就農、規模拡大等による引き合いが強くなるものと考えられます。初妊牛価格の高騰で買い控えの動きもある中で、直近の乳牛市場では最高値を更新しており、天井相場を探るのが非常に困難な状況になってきております。今年度の導入を予定されております方は、遠腹のご検討も含め早めのご注文をお勧めいたします。道内においては、最低気温がマイナスとなる日も出てまいりましたので、来道の際はお気を付け下さい。
	初妊牛	73~83	▲	
	経産牛	55~65	▲	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。庭先選畜購買のため、市場購買とは異なり、価格差が生じます。

今月の表紙

「デントコーンサイレージ取りのお手伝い」

今月の表紙は、「第7回酪農いきいきフォトコンテスト」(第45回全国大会にて開催)において入賞された「デントコーンサイレージ取りのお手伝い」(宮城県 佐藤かほり氏撮影)です。



▼誌面でも紹介しましたが、10月21日に有楽町駅前広場にて理解醸成活動を開催致しました。全国各地でも順次開催予定。このような活動を通じて、少しでも多くの消費者に牛乳の価値を理解してもらえよう、今後も業界一丸となってアピールしていきましよう。

▼朝晩の冷え込みが厳しくなり、温かい食べ物や美味しい季節となりました。これから来る厳しい冬に備えて、栄養を蓄えておきたいですね。

編集後記



平成28年11月10日発行(毎月1回10日発行)

ZENRAKUREN
MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報 11月号 No.614

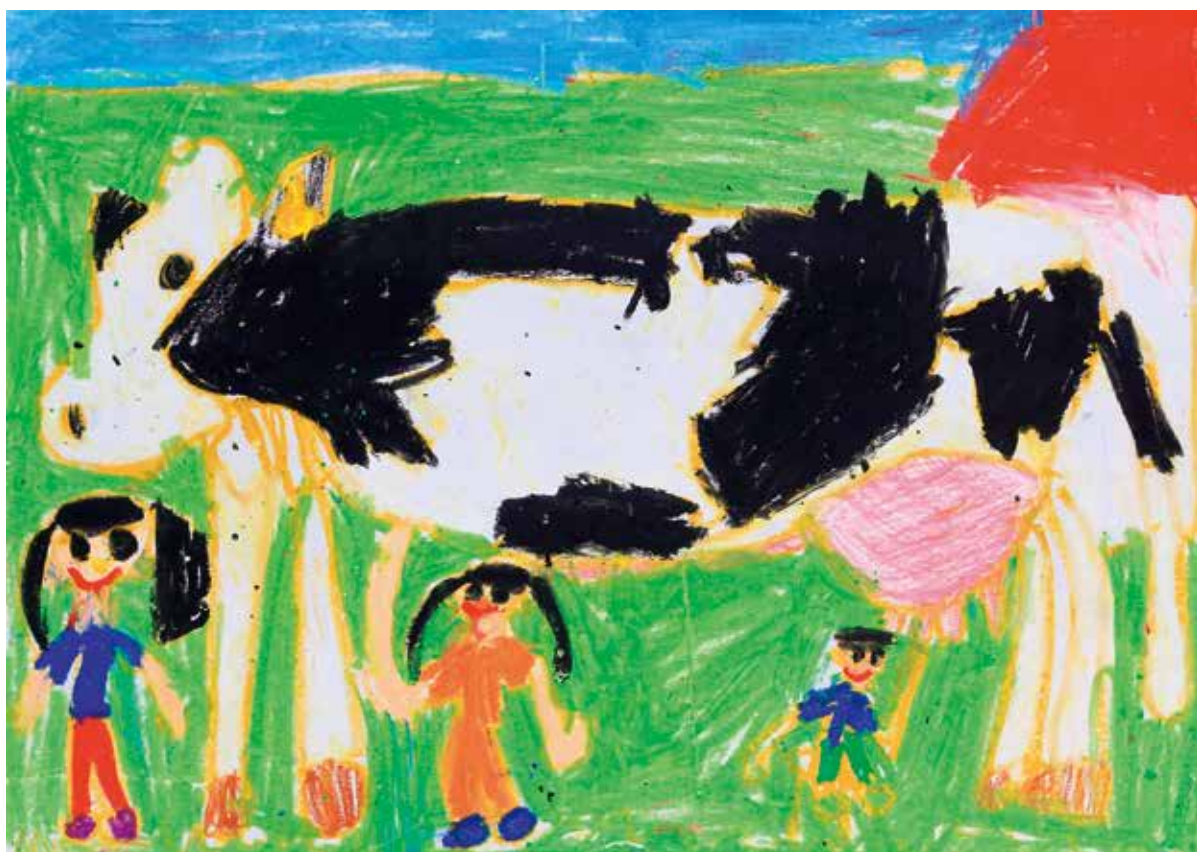
●編集・発行人 大森 一幸

●発行 全国酪農業協同組合連合会

〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号

TEL 03-5931-8003

http://www.zenrakuren.or.jp/



今月の



入賞作品紹介

うしさんのちちをしぼったのしいな

坂戸市立大家小学校(関甲信・埼玉)1年 菅野 寧々



月の入賞作品は、坂戸市立大家小学校（関甲信・埼玉）1年の菅野 寧々さんの作品です。

画面いっぱいに大きな牛さんと友達と一緒に描いた作品です。クレヨンを力いっぱい使ってパワフルに描いています。乳搾りのみんなの表情が笑顔で楽しそうですね。

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議主催の「第43回らくのうこどもギャラリー」で全国674点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議